

開講日	2009年8学期 水曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室B	医	技	保
コーディネーター	名古屋市立大学病院小児科 講師 水野 晴夫			●	●	○
				※●:コア科目、○:選択科目		

科目概要および期待される成果	<p>【概要】小児科で日常的に頻度が高い感染症についての講義、次に多岐に渡るこどもの主訴に応じどのように対応し、診断・治療に結びつけるか、さらに、小児科に特有な専門的病態についての講義を行い、小児科全般を幅広く網羅し、診断力を向上の一助となるようなカリキュラムで、総合的な再教育を行う。</p> <p>【期待される成果】一旦、臨床現場から離れていた医師・看護師が、各疾患の病態、実際の現場でどのような対応をするべきかを、再度学習し、日常診療で多く遭遇する疾患から専門的疾患まで含めて、特殊性を持つ小児科疾患に対する理解を深めることができる。</p>
目標とする資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
小児科で最もよく遭遇する疾患	1	小児の上気道炎、呼吸器感染症	小児科でもっとも頻度が高いかぜ症候群、気管支炎、肺炎などの呼吸器感染症の診察、診断方法について学ぶ。また、原因となるウイルスや細菌などの病原体について理解し、抗菌剤などによる治療法についても習得する。	8月5日	准教授 伊藤 哲哉 名古屋市立大学医学研究科小児科
	2	小児のウイルス発疹症	小児科で、発疹を主訴とする児の頻度は多いが、原因ウイルスは多岐に渡る。時として、その診断には苦慮する場合も多く、その診断、鑑別法、またそのウイルス疾患に合併しうる疾患を念頭に置きながらどのように対処するのがよいかを習得する。	8月19日	准教授 伊藤 哲哉 名古屋市立大学医学研究科小児科
小児でみられる一般症状への対応・処置	3	小児の発熱・咳嗽	発熱・咳嗽は、小児科外来において最も頻度の高い愁訴である。発熱に対する考え方と処置法を理解し、患者に説明をすることは重要である。咳嗽には、多くの原因が存在し、それに応じた対応が要求される。原因疾患、対処法などを習得する。	8月26日	病院准教授 鈴木 悟 名古屋市立大学医学研究科分岐育成先端医療センター
	4	小児の痙攣・頭痛	気道の確保、抗痙攣剤の投与に加えて、痙攣の原因疾患の鑑別などを学ぶ。また、頭痛は小児で比較的多い愁訴であるが、小児神経疾患のみならず他科との境界的な問題も多く、その対処法について学ぶ。	9月2日	助教 安藤 直樹 名古屋市立大学医学研究科小児科
	5	小児の意識障害への対応	小児の意識障害に遭遇した場合の、病歴・既往歴の聴取法、意識障害の程度と神経徴候の判定法、呼吸状態の観察と一般的身体所見の診察法、診断に必要な検査、原因疾患の鑑別、呼吸管理、脳圧亢進、脳浮腫などへの薬物治療を学ぶ。	9月9日	助教 小林 悟 名古屋市立大学医学研究科小児科
	6	チアノーゼ	新生児期であれば、先天性心疾患や無呼吸、呼吸器系の先天異常、新生児期以降であれば肺炎、気管内異物、誤飲、気管支喘息などの原因の鑑別、診断法などについて習得する。	9月16日	助教 山口 幸子 名古屋市立大学医学研究科小児科
	7	小児の心肺停止・蘇生	小児の心肺停止の主な原因疾患、年齢分布、その対応方法などについて学ぶ。また、乳幼児突然死症候群の診断基準についても理解する。さらに、心肺停止に遭遇した場合に必要な蘇生法についても復習する。	9月30日	准教授 加藤 稲子 名古屋市立大学医学研究科小児科
	8	小児の急性腹症	小児の腹痛の特徴をよく理解し、緊急性、重症度を正しく評価し、原因疾患の診断法について学ぶ。	10月7日	助教 今峰 浩貴 名古屋市立大学医学研究科小児科
	9	新生児医療の実際	新生児仮死や早産児における呼吸窮迫症候群などの呼吸障害を来す疾患への対応、急性循環不全に対する救急処置、重症感染症や重症黄疸に対する集中治療などについて学ぶ。	10月14日	病院准教授 鈴木 悟 助教 杉浦 時雄 名古屋市立大学医学研究科分岐育成先端医療センター、小児科
小児専門的疾患への対処法	10	先天代謝異常症に対する対応	新生児期・乳児期に発症する高アンモニア血症、低血糖、代謝性アシドーシスをきたす先天代謝異常、迅速な対応が求められるマススクリーニング対象疾患などの対処法、また、長期フォローにおける留意点などを習得する。	10月21日	准教授 伊藤 哲哉 名古屋市立大学医学研究科小児科
	11	小児の血液・悪性疾患	緊急処置が必要な血友病や重症の血小板減少性紫斑病などの病態、治療について学ぶ。また、白血病や悪性リンパ腫などの悪性疾患の初期症状、診断に必要な検査についても習得する。	10月28日	助教 伊藤 康彦 名古屋市立大学医学研究科小児科
	12	小児の肝疾患	新生児期には胆道閉鎖症のような緊急性を有する肝疾患が存在する。その時期の黄疸・肝腫大などの症状にどのように対処するかを習得する。また、母子感染を含め小児期によく見られるウイルス性肝疾患の鑑別・対処法などについても学ぶ。	11月4日	助教 杉浦 時雄 名古屋市立大学医学研究科小児科
	13	小児の神経疾患	てんかん、脳炎などの神経疾患の病態・対処法について学ぶ。また、CT、MRIなどの画像検査、脳波検査などをどのように判読し、診断に至るまでを実際の症例を通して、習得する。	11月11日	助教 安藤 直樹 助教 小林 悟 名古屋市立大学医学研究科小児科
	14	小児の循環器疾患の診かた	循環器疾患をスクリーニングするための診察法、心疾患を診断するための心エコーの描出法、心電図の読み方、また、原因疾患の鑑別について学ぶ。	11月18日	助教 山口 幸子 名古屋市立大学医学研究科小児科
	15	小児の成長障害・内分泌疾患への対応	内分泌が成長に及ぼす影響を理解し、成長障害の診かたを習得する。また、日常よく遭遇する内分泌疾患や、迅速な対応が要求される先天性の副腎疾患やクレチン症などについてもその病態・対処法などを学ぶ。	11月25日	講師 水野 晴夫 助教 今峰 浩貴 名古屋市立大学医学研究科小児科